



【学校教育目標】「ふるさと柵原を愛し、心豊かにたくましく、主体的に学ぶ子どもの育成」

## 3学期がスタート

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。さて、柵原中学校として、最後の学期を迎えました。始業式の生徒たちの様子から、学校生活に前向きに取り組んでいこうという表情や態度を感じることができました。長かったコロナ禍も落ち着き、日常が戻ってきています。新年を迎え、生徒の皆さんにはぜひ、新しいことに挑戦してほしいと考えています。特に1年生は学校生活にも慣れてきたころと思いますので、柵原ドリーム学において、昨年の青野町長のご講話を元にした地域貢献からどんな活動に繋げてくれるのかとても楽しみにしています。

今年の年明けは、能登半島地震や羽田空港での航空機事故など、心が痛む出来事が起こりました。被災地では、負傷された方、亡くなられた方、そして今でも行方不明の方々が多くいらっしゃいます。心からご冥福をお祈りすると共に、1日も早い復興を願っています。

柵原中学校は校舎や体育館等の施設は老朽化していますが、最後まで丁寧に、そしてきれいに使って令和5年度末（令和6年3月末）に設置者（美咲町）に戻したいと考えています。感謝の気持ちを込めて日々の掃除を行いましょう。

## Makoさん料理教室

柵原中学校出身で美咲町の  
応援大使でもあるアイディア  
料理研究家の mako さんが、

昨年末2年生対象に「料理教室」を家庭科室で開催してくださいました。生徒たちは、美咲町特産の「卵」と「生姜」、スパム（沖縄のソウルフード）を使って、握らないおにぎり「おにぎらず」に挑戦しました。makoさんの説明を聞きながら手際よく取り組むことが出来ました。試食の際、笑顔と共に「おいしい」という歓声があがり「家でも作ってみたい」といううれしい感想も聞かれました。「料理教室」が終わった後、Makoさんが校長室に来てくださり「素直でいい生徒たちですね。とても楽しかったです。」と褒めてくださいました。校内外で活躍する2年生が地域貢献に向けて動き出したと感じています。Makoさんのさらなるご活躍を期待します。ありがとうございました。



## 閉校記念行事開催

1月2日と3日に、柵原学区閉  
校準備委員会が主催して「閉校記  
念行事」が行われ、本校では施設

を開放して多くの方々に中学時代を懐かしんでもいただきました。お正月ということもあり、2日間でのべ、800名程の方々が中学校に足を運んでくださいました。メッセージボードのコメントから、46年という歴史の長さを感じると共に、地域の皆様方の母校への温かい思いが伝わってきました。参加者の皆さんから、「中学校は掃除が丁寧にできていますね。」と声をかけていただき、生徒たちの日常の取組を褒めていただきました。当日は美術コースの生徒たちが準備した「特大楽譜（現在の校歌）」や「等身大卒業証書」の前で記念撮影をされている方も多く見受けられました。また、3年生が「柵原ドリーム学」の時間を利用して作成した「手作りガチャ玉」は大好評で、初日に全てが出てしまいました。映像コーナーでは生徒たち自作の「校内動画」や、美咲テレビ作成の「ドキュメンタリー番組」を楽しんでもいただきました。まさに地域の方々と協働しての手作り行事でした。最後に素晴らしい思い出がまた一つ増えたことを嬉しく思います。



